

それは そうなんだ けど...  
引きかえに 何か大事なものを なくして しまっような 気がする...

僕が捨てた所 熊本を捨てる わけにはいかない  
引きかえに 何か大事なものを なくして しまっような 気がする...

それで僕は 熊本で描き続けた だが...  
なんでもよな 実力も無い んだらうけど 題材やら内容やら 指定されて 描いてるつーより 描かされてるつーな...  
これって 使い捨ての アイドルレ ントと同じだ よなあ  
僕はヒューマン な作品を描きた かったのだ  
あっせー!

このからは 人のために 生きよう...

世の中のために 自分を生かす道 とは? (こころを 対象は仕事)  
道は自分で つくるもの (はたあけ 社長 絵本作家 田島淳之介)  
とうわけで 次号から私が 熊本に材を取った 話をマンガで紹介 していきます

熊本でこいって 仕事の夢を 持つ者の集まれる 場所を作りたい ナー!  
「志ある所道有り」 座右の銘は常に 心の中心に  
ヨロシク!

読者投票 3位だったよ!  
連戦もやること だし、東京に出 て来ると本格的に やりなよ  
はあ...  
そして僕は たびたび東京へと 打ち合せて 出て行くようにな った。

アシスタントの 確保や仕事の やりやすさ、多 考えたら 出てくるべきだよ  
仕事や遊びで 暮らすには 世界最高の街 だよなあ  
はっはっは はっはっは そうですか かね  
当然の意見で あった。  
住めば都と 言っし...

その頃ちょうど 父が高足骨折で 入院  
痛かな? (ガモン カカトヒ ホルト)  
たい! たい!  
たいたいた  
たいたいた  
かわりに一年間 農業をやった。

くる日も くる日も...  
そして くる日も...

ただただ 流れゆく自然 との対峙  
いつしか僕は自己の 小ささともに 生かされている 自分を感じていた。

体い気をつけ にゃんばい  
うん  
僕は高校を卒業 すると進学のため 都へへと集立った。  
しっかりと ガンバレよ...  
キーン  
うん...  
座右の銘は 「志ある所道有り」 僕の胸は希望に

さーて いっちゃん 遊んだらかい!!  
あのおね... 学校! 学校!  
そして 仕事!  
いわる キンロー学生 だったわけ だよ!  
現在の私  
自由

子供の頃からの "夢"の目標に 本気で向かう 気があるのか  
熊本に帰ったよの図  
そのエネルギーを 維持しつづける 「不動心」が本当に 出来るまで  
描いてみたいかが いっぱいあって いろいろな 仕事 (バクと)

男一々決め たこと 好きなように すたー!  
世間体を経済的な ことも飲み込み 両親はただ 見守ってくれ ました。  
お別れね  
お別れね  
あ あ

もしもし こちら出版社の 者ですが...  
果少年誌の つなかりも 出来  
お別れね  
お別れね  
あ あ

僕の名前は 西島淳之介  
田園風景の広がる 熊本市若菜に 農家の次男坊と して生まれた。  
作画:西島淳之介  
僕のブーメラン 物語

自然に囲まれ ごく普通に 少年時代を 過ごした。  
よく遊び よん遊ん

そして ごく普通に マンガ大好きな 少年だった。  
そして ごく自然に思った 大きく変わったら マンガ界に ならう!

だが 多聞にもれず いっしょに大学への 足も遠のき  
親の願いもむなしく 「いっしょに遊んだら かいのみが実現して しまった。

そして連日の どんちゃん騒ぎ!  
仕事は続けて ました  
まあん 羨ましい!

熊本...  
仕事は続けて ました  
まあん 羨ましい!

帰るか!  
実はこの時期 僕は社会勉強をしつつ 自分自身を試して いました。